

地域再生計画

1 地域再生計画の名称

宇検村まち・ひと・しごと創生推進計画

2 地域再生計画の作成主体の名称

鹿児島県大島郡宇検村

3 地域再生計画の区域

鹿児島県大島郡宇検村の全域

4 地域再生計画の目標

本村は、鹿児島県の南方 383 km、北緯 28 度 17 分、統計 129 度 18 分、奄美大島南西部に位置している。焼内湾の沿岸に沿って 14 の集落が点在しており、その入り江は天然の良港として遠近海漁船の避難港としても知られている。また、海拔 694m の標高を持つ「湯湾岳」があり、頂上一帯の国有林の一部は昭和 49 年 2 月に国定公園に指定され、学術上貴重な動植物が群生している。

本村の総人口は平成 22 年(2010 年)時点で 1,932 人であったが、平成 27 年(2015 年)の国勢調査において 1,722 人となっている。住民基本台帳によると令和元年(2019 年)時点では 1,699 人まで落ち込んでおり、減少傾向にある。国立社会保障・人口問題研究所によると、このまま何の対策もしなければ、令和 42 年(2060 年)には 663 人まで減少すると予測されており、大変厳しい状況下に置かれている。

年齢 3 区分別人口の推移を見ると、昭和 60 年(1985 年)から平成 27 年(2015 年)にかけて、年少人口は 468 人から 201 人に、生産年齢人口は 1,420 人から 868 人に減少している一方、高齢人口は 585 人から 653 人に増加している。

自然動態を見ると、死亡数は増加傾向であるのに対し、出生数は近年 10 人近傍で推移している。令和元年(2019 年)は 23 人の自然減となっている。また、合計特殊出生率は令和元年(2019 年)において 1.69 となっており、国や県の平均以上であるが、人口置換水準とされる 2.07 は下回っている状況にある。社会動態を見ると、令和元年(2019 年)は転入数 107 人、転出数 97 人で 10 人の社会増となっている。

本村に限らず、地方圏では人口減少・高齢化により地域づくりの担い手不足という課題に直面している。また、進学・就職による人口流出や、選択の幅が狭い雇用などといった課題も懸念される。しかし、地域によっては、若者を中心に変化を生み出す人材が地域に入り始めており、「関係人口」と呼ばれる地域外の人材が地域づくりの担い手となることが期待されている。特に本村においては、関係人口を創出するにあたって、新たに宇検村に呼び込むことよりも、かつて宇検村に住んでいた人たちや、その二世・三世にあたる人たちとの関係を築き上げ、人口増加へつなげられるような取り組みを進めていくべきだと考えられている。無理に新しいことを始めず、宇検村にもとからある人や伝統などを活用することで「背伸び（たーしゃ）」をやめ、住むことで人としての生き方を思い出せるような「宇検村人（ひと）」になれる“うけん”づくりを目指していく。

これらを踏まえたうえで、本計画において、下記の基本目標を掲げ、宇検村らしさを見出しながら、雇用拡大・産業振興・観光振興・生活環境の充実等により定住と交流促進につながる多様な取組を、近隣4市町村とも広域的に連携しながら、地域力を結集して進める。

- 基本目標① “うけん”に定住できるしごとづくり
- 基本目標② 人を呼び込む“うけん”づくり
- 基本目標③ “うけん”の次世代を担うひとづくり
- 基本目標④ 結いのところでつながる“うけん”づくり

【数値目標】

5-2の ①に掲げ る事業	K P I	現状値 (計画開始時点)	目標値 (令和6年度)	達成に寄与する 地方版総合戦略 の基本目標
ア	就業者数	550人	665人	基本目標①
ア	事業所数	88事業所	102事業所	基本目標①
イ	社会増減数	10人	20人	基本目標②
イ	延べ宿泊者数	6,733人	8,000人	基本目標②

ウ	子育て環境の満足度 (村民アンケートによる調査)	60%	80%	基本目標③
ウ	合計特殊出生率	1.69	2.30	基本目標③
エ	村民の平均幸福度(村民アンケートによる調査)	7.3点	7.5点	基本目標④

5 地域再生を図るために行う事業

5-1 全体の概要

5-2のとおり。

5-2 第5章の特別の措置を適用して行う事業

- まち・ひと・しごと創生寄附活用事業に関連する寄附を行った法人に対する特例(内閣府)：【A2007】

① 事業の名称

宇検村まち・ひと・しごと創生推進事業

- ア “うけん”に定住できるしごとづくり事業
- イ 人を呼び込む“うけん”づくり事業
- ウ “うけん”の次世代を担うひとづくり事業
- エ 結いのところでつながる“うけん”づくり事業

② 事業の内容

ア “うけん”に定住できるしごとづくり事業

本村の将来人口目標を達成するためには、安定した地元雇用が不可欠となる。うけん市場を含む観光拠点施設での地元生産品販売体制向上や農業活性化事業等による農林業・水産業・観光業・商工業などの地元産業の底上げ、観光立村の推進事業として新規観光業起業者支援及び複数の機能を備えた新設の観光拠点施設の運営における新たな雇用の創出等によるしごとづくりを図る事業。

【具体的な事業】

新規観光業起業者支援事業
宇検村農業活性化事業
プレミアム付商品券事業
宇検村観光拠点施設事業 等

イ 人を呼び込む“うけん”づくり事業

新しい人の流れをつくるためには、観光面の強化や移住・定住の定着化を図る必要がある。自然や文化など村独自の特色を活かした村内伝統行事の観光イベント化事業、観光客からのSNS発信に繋がる無料Wi-Fiの設置、「将来帰ってきたいくなる宇検村」について子どもたちが話し合える環境を作り将来的なUターンや関係人口創出に結びつける宇検村未来の担い手育成事業、親子山村留学事業の拡充等を実施することにより、定住・交流人口の増加を図る事業。

【具体的な事業】

村内伝統行事観光イベント化事業
無料Wi-Fiの設置事業
個人事業者等移住支援事業
合宿増加推進事業 等

ウ “うけん”の次世代を担うひとづくり事業

本村の次代を担う若い世代の増加は、村に活気を与え、更なる飛躍と発展の原動力となる。宇検村内で若者の出会いや結婚を支援する移住・交流推進事業をはじめ、島内高校通学者へのバス定期券補助の継続、不妊治療支援事業、入学・出産祝い金等の助成拡充、働く子育て世帯が利用できる学童保育施設設置事業等の結婚・出産・子育ての切れ目ない支援により、子どもを生き育てる環境の充実を図る事業。

【具体的な事業】

入学祝い金等の助成拡充
島内高校通学者へのバス定期券補助の継続

学童保育施設設置事業
地域不妊治療支援事業 等

エ 結いのところでつながる“うけん”づくり事業

本村内には14の集落が点在し、少子高齢化が進んでおり、各集落の存続が困難になっている。廃屋撤去事業による安全確保と土地利用、グリーンスローモビリティ事業による交通弱者の支援等をもって、住宅や集落の拠点等整備や機能集約を図り、各世代が住み慣れた地域で安心して暮らせるような生活環境の創出・再構築を図る。

また、住民同士が身近な地域課題を解決する基盤を醸成する地域力強化推進事業、官民共同で連携を図り村の活性化・課題解決につなげる“わん”チームプロジェクト事業等により、村民と村民が助け合う地域共生の村づくりの体制もつくる事業。

【具体的な事業】

地域力強化推進事業
多機関の共働による包括的支援体制構築事業
食の自立支援事業
グリーンスローモビリティ事業 等

※なお、詳細は『第二次宇検村まち・ひと・しごと創生総合戦略
～^{たーしゃ}背伸びはやめた。^{ひ と}宇検村人になろう。～』のとおり。

③ 事業の実施状況に関する客観的な指標（重要業績評価指標（KPI））

4の【数値目標】に同じ。

④ 寄附の金額の目安

310,000千円（令和3年度～令和6年度累計）

⑤ 事業の評価の方法（PDCAサイクル）

各事業のKPIに基づいて、毎年8月頃に、宇検村まち・ひと・しごと創

生総合戦略策定委員会にて効果検証を実施し、継続すべき点、改善すべき点を計画に反映させる。

なお、検証結果については、宇検村公式ホームページにて公表する。

⑥ 事業実施期間

地域再生計画の認定の日から令和7年3月31日まで

6 計画期間

地域再生計画の認定の日から令和7年3月31日まで